



レポート 2015年春号

○発行日:2015年2月 ○発行者:岩田ひろたか事務所 ○住所:松江市東本町5丁目70番 TEL:0852(24)2323(Fax兼)



未来への責任。 若い力がしまねを創る

皆さんこんにちは。島根県議会議員の岩田ひろたかです。2011年の初当選以来、若い視点・島根を大好きな県民の一人として議会活動をさせていただきました。これまでの活動報告をさせていただきます。そしてこれから島根がどうあるべきかを皆さんと一緒に考えてまいります。

地域医療や高齢者の介護を支える人材の育成・障がい者支援・子育て支援など医療福祉の体制整備を進めています。とりわけ島根県の深刻な医師・看護師不足、また、介護不足などの課題克服に努めています。そして子育て世代をしっかりと支援する対策に取り組んでいます。

まっすぐ。 日本一の島根へ 医療・福祉

島根県の過疎化現象の兆候は、昭和30年代からの高度経済成長によって、地域の人口は急激に大都市に吸引されました。今日、交通網の整備は著しく整備され物流でのハンドルは改善されてきました。農業再生、産業振興、観光振興などに力を入れて、人口減少社会に立ち向かっています。

まっすぐ。 暮らしたい島根へ 雇用を守る・創る

地方創生の取り組みは「待ったなし」の状態です。人口減少、少子化、高齢化、グローバル化の中での仕組みづくり、組織づくり、そのためには「人づくり」が最も重要です。老若男女、大人と子供の間に壁をつくらず、自立を進め大人と子供の間に壁をつくらず、自立を進め人材育成がいまこそ必要だと考えます。

まっすぐ。 すべての基本は人づくり

まっすぐ。 座敷わらしの コーナー☆

こんにちは!もうすぐ4歳、岩田事務所の座敷わらしです(・ω・)ノ
この4年間…事務所には様々なお客様がお見えになり、たくさん世の中の事を教えてもらいました。いつもありがとうございます!!
私も小さな脳みそでいろいろと考えるようになりました。岩田議員にとって今年は節目の年みたいですし、もっとみんなの笑顔が増えるようにますます頑張ってもらわなくちゃ!なんて思っています(*^_^*)v

民主党島根県連 0852-24-1121

政治家の世界はどうしても年齢が高い人が多く、若者の選挙離れが指摘され久しくなります。国では若者の投票権を18歳に下げ、若者の判断を政治に生かそうという動きも見られます。
『若手政治家の一人として若い世代の声をしっかりと伝え、将来を担う若者が政治をより身近になるよう努めています。』

まっすぐ。 若い力を生かします

豪雨災害は毎年のごとく発生し、大きな被害をもたらしていることから、対応をより密にしたハザードマップの整備と危険個所の計画的整備、また、防災教育の充実など震災に備えた意識の高揚を目指しています。

まっすぐ。 安心・安全が 実感できる島根へ

岩田ひろたか 県政報告会を開催します!!

岩田ひろたかの4年間の思いと県政への決意を語る県政報告会を開催いたします。
どなたでも参加できますので、お気軽にご参加ください。

日時 2015年2月20日(金)18:30~

場所 労働会館4F (島根県松江市御手船場町557-7)





岩田ひろたかが残した4年間の足跡

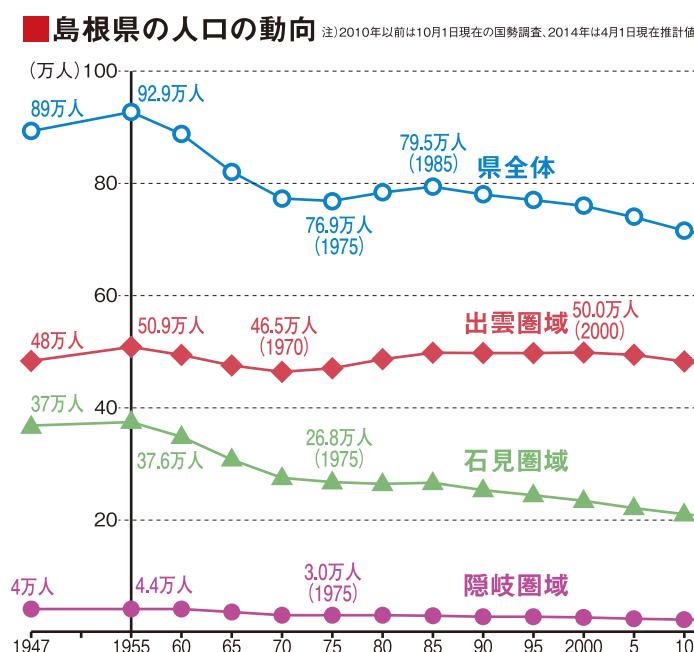
1期目4年間は、先輩議員にご指導を頂きながら全力で取り組んでまいりました。
まだまだ至らない点ばかりですが、活動の一端をご紹介させていただきます。

最初の県議選を控えた2011年3月11日、東日本大震災が発災しました。

当時いてもたつてもいられず翌日に同い年のメンバーが集まって街頭募金をしました。県議会に当選後、松江青年会議所の一員として被災地への復興ボランティアに参加し、被害の甚大さに圧倒されながら活動に携わってきました。県議会でも被災地の復興の現状と課題を調査に足を運び、その被害を山陰海岸に置き換えて議会で質問してまいりました。

こうした中で、広域避難計画の整備、原子力防災の充実が図られてきましたが、住民が安心して暮らせる島根の実現のためにさらにその実効性を追求しています。

まっすぐ 障害を持つ子供たちに光 ● 中・軽度難聴児への補聴器 購入助成制度がスタート



県人口は昭和30年初頭には92万人でしたが、第一次産業が主流の島根県は高度経済成長の波に飲み込まれ大都市への人口流出が始まりました。平成2年に人口78万1千人に減少したことを重く見た島根県は、平成3年に「住んで幸せ島根づくり」プロジェクトを立ち上げて以来、人口対策に取り組んできました。

しかしながら減少に歯止めはかからず、県は昨年7月に人口対策本部を設置しました。もう待ったなしの現状。県議会でも私の質問に対し、知事は「雇用」「地方分散」を進めることの必要を認識しています。私も都市と地方の格差の是正を進め、地方産業の育成や企業誘致によって人口流出を抑え、U・Iターンを進めることが必要と考えます。一方、若者が地域の課題を理解し、その解決法を考える場をつくることが大切です。未来への投資「人財育成」を同時に進めれば地方の未来は明るいのです。

まっすぐ 東日本大震災と地域防災 ● 更に安全・安心な島根をめざして

まっすぐ。
● 原因わかつても手段実らす：
いまこそ未来へ投資を！

まっすぐ すべての基本は 人づくりの理念を県政に

● キャリア教育の推進・高校の魅力化



まっすぐ 地域に飛び出せる 議員でありたい

政治家の活動のフィールドは常に「現場」にあります。さまざまな地域活動や街の声を拾い歩くこと。地域のイベントや行事に来賓でお邪魔するのではなく、自ら一緒に汗をかいていくことをモットーに活動しています。



私が県議会議員になった当初、島根県のほとんどの県立普通科高校で、キャリア教育は行われていませんでした。キャリア教育とは「将来を担う若者たちに勤労観、職業観を育み、自立できる能力をつけてもらう」ことで、地域の課題と仕事を理解して、故郷への想いを持って活躍してくれる人材をはぐくむことが大切との考え方から、推進を訴えてきました。この4年間でも高校での職業人講話やインターンシップなど、大きな成果が見え始めています。

